

4月

## オオシマザクラ 大島桜

オオシマザクラは花が白くて遠くから見るとやや青白く見えるのが特徴です。葉には、よい香りがあり、塩漬けにして桜餅を包むのに使われます。



180408・I5

## ハナズオウ

花の咲く時期は4月から5月、葉を出す前に葉の付け根に蝶型の花が数輪まとまって咲きます。花は赤紫色で、大きさは約2cmです。花茎が極端に短いので枝に直接くっついてるように見えます。満開時期は花が枝を覆います。花後にキヌサヤインゲンを短くしたような平たい豆鞘がたくさん垂れ下がり、熟すと褐色になります。



180402・M4



180408・I5



180408・J5



180402・M4

## レンギョウ 連翹

モクセイ科の落葉性低木。細長い枝を地際からたくさん伸ばして茂ります。開花期は春で、枝を埋め尽くすほどたくさんの黄色い花を咲かせます。花びらは基部から深く4つに裂けてやや斜めに開きます。



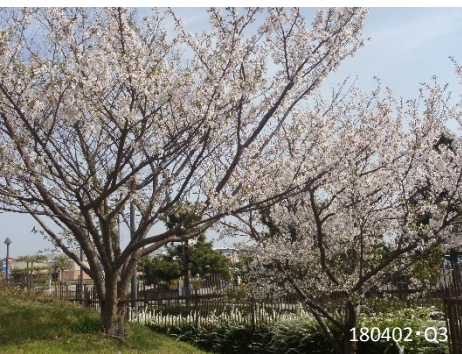
180408・I5



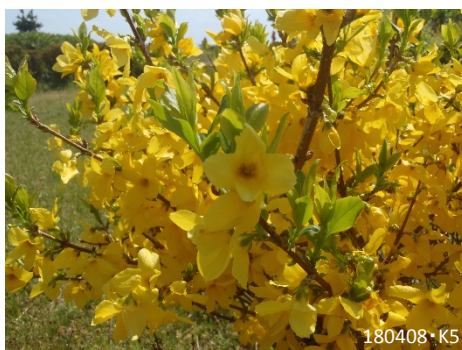
180408・J5

## ハナカイドウ 花海棠

ソメイヨシノが咲き終わる頃に紅色の可憐な花を枝いっぱい咲かせます。花びらは雄しべと雌しべを軽く包むような半開状態になり、完全に開きません。



180402・O3



180408・K5



180408・N4

## ユキヤナギ 雪柳

バラ科シモツゲ属の落葉低木。株元から枝をたくさん出してわさわと茂ります。緩やかなアールを描きながら長くしなやかに枝垂れる枝と株を被うほど咲く白い花が特長です。



# ↓アジュール舞子の草花

# 4月

## ボケ 木瓜

日本、中国を原産とするバラ科ボケ属の落葉低木。枝にはとげが生えており、短い枝に花がびっしりとつきます。果実が瓜に似ており、木になる瓜で「木瓜(もけ)」とよばれたものが「ぼけ」に転訛したとも言われる。



180408・J5



180413・H4



180408・Q3



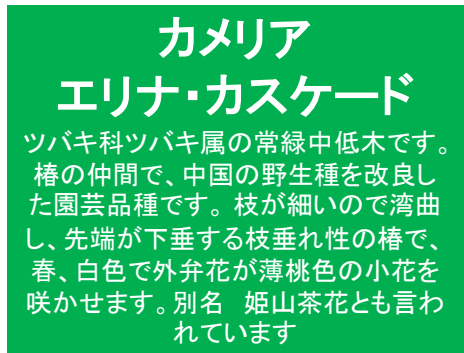
180419・J5

## アセビ 馬酔木

馬が食すと酔ったように苦しむことに由来します。茎葉に有毒物質のアセボトキシンが含まれており人間が誤って口にすると腹痛、嘔吐などの症状を起こすことがあります。春にスズランのような甘い香りのする白い花を楽しむことができます。



180408・Q3



## カメリア エリナ・カスケード

ツバキ科ツバキ属の常緑中低木です。椿の仲間で、中国の野生種を改良した園芸品種です。枝が細いので湾曲し、先端が下垂する枝垂れ性の椿で、春、白色で外弁花が薄桃色の小花を咲かせます。別名 姫山茶花とも言われています



180408・J5



180408・Q3



180408・H4



180408・J5

## ヤブツバキ 藪椿

椿の仲間は200品種を越える園芸品種が作成されていて、日本に自生している野生種はこのヤブツバキと、その変種とされるユキツバキとヤクシマツバキの3種だけです。「つばき」の語源は、厚葉木(あつばき)または艶葉木(つやばき)といわれている。

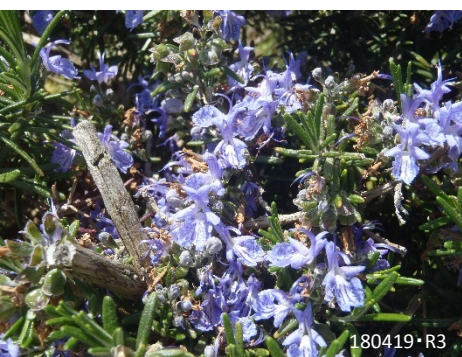


180413・H4

## ローズマリー

地中海沿岸に分布する常緑性の低木です。強い芳香があってハーブとして利用される。葉っぱは3cm程の短い棒状で濃緑色、表面には光沢があります。冬から秋にかけて葉の付け根に淡紫色の花を咲かせます。満開時は枝がたくさん花で彩られます。





180419・R3



180419・H5



180408・C6



180419・R3



180419・H5



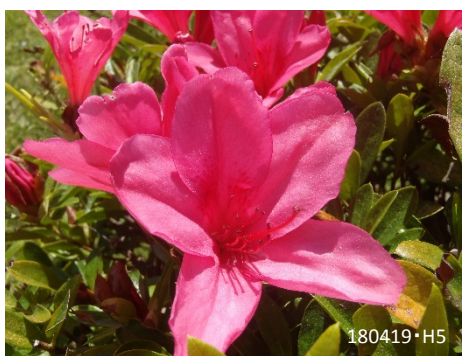
180422・C5

## ラベンダー

シソ科の背丈の低い常緑樹。春に紫や白、ピンク色の花を咲かせる様々な品種がある。

中でも紫色の花が最もポピュラーである。

ちなみに、ラベンダー色とは薄紫色を意味する。



180419・H5

## ヒメウツギ 姫空木

ウツギは万葉集にも24首の歌が詠まれ、初夏を飾る花として古くから親しまれています。ヒメウツギは全体に小柄でウツギよりもほっそりしているので「ヒメウツギ(姫空木、姫卵木)」といわれ、この「ヒメウツギ」や「マルバウツギ」、「バイカウツギ」などを総称してウツギといいます。



180422・R3



180419・H5



180419・H4

## ヒラドツツジ 平戸躑躅

琉球産のケラマツツジとモチツツジ、キシツツジなどが自然交雑と実生が繰り返されてできた大型ツツジの品種群をさします。古くから主に長崎県平戸市で栽培されてきたことからヒラドツツジとよばれています。

## ヒイラギナンテン 柊南天

葉っぱがヒイラギ、実の付き方がナンテンに似ているためこの名前があります。葉っぱにはとげとげがあり、冬になると赤く色付きます。春には茎の頂点から花茎を横から斜め下に伸ばして、小さな黄色い花をたくさん咲かせます。



180419・H4



## コデマリ 小手毬

中国原産の落葉低木で、名前は小さな手毬状の花姿に由来します。日本でも古くから知られており、「スズカケ(鈴掛)」の古名があり、5枚の花びらをもつ径7mm程の小花がまとまって咲き、およそ3cmの手毬状になります。



180422・K5

## ハマナス 浜茄子

バラ科バラ属の落葉低木。夏に赤い花(まれに白花)を咲かせる。根は染料などに、花はお茶などに、果実はローズヒップとして食用になる。



180422・O6

## ヤマモモ 山桃

雄木と雌木(雌雄異株)があり、雌木は梅雨時期にルビー色の美しい果実を付けます。3月~4月に花を咲かせ、花は雄木と雌木では異なり、雄木は赤味を帯びた3cm程の花穂に褐色の花を咲かせます。



雄木

180402・M5



180422・K5

## ニシキギ 錦木

枝に「翼(よく)」と呼ばれるコルク質の羽が付くのが特長。春に淡緑色の小さな花を咲かせます。秋になると果実が熟して裂け、中から赤橙色の種子が顔を出します。紅葉は非常に美しいですが、カエデ類と比べると落葉が早く鑑賞期間が短いのが少し難点です。



180422・N4

## ナワシログミ 苗代茱萸

枝の先は、しばしば棘になる。マツ林などの明るい二次林や林縁などに生育している。葉の表面には星状の毛が点々とあり、独特の模様となっている。果実は4月から5月の「苗代」を作るころに赤熟するので、ナワシログミの名がある。



180414・P3

## バイカウツギ 梅花空木

ユキノシタ科バイカウツギ属の落葉低木。

6月~7月に枝先に白いさわやかな花を咲かせます。また、茎が中空のためにウツギの名前がついています。



180422・N4



180422・D5

## ウバメガシ 姥目榎

沿岸地域の急傾斜地などに生育するカシの仲間の常緑樹。ウバメガシは備長炭とよばれる良質の木炭の原料として重用されました。名前の由来は新芽が茶色いためという。「ばべ」あるいは「ばべがし」とも呼ばれています。



# ↓アジュール舞子の草花

# 4月

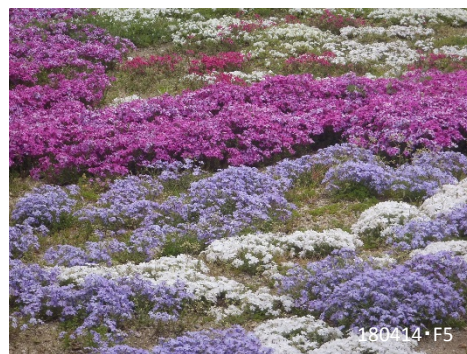
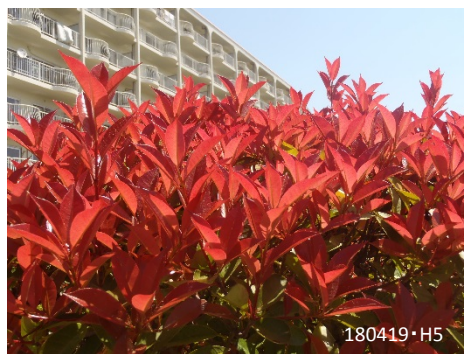


## アラカシ 粗榿

いわゆる「ドングリの木」の代表的な樹種であり、特に西日本に多く、関西地方ではごく一般的に庭木として使われる。枝の出方が荒いこと、幹に割れ目が多くて粗い感じがすること、材が堅いことなどから「粗い堅し」→「アラカシ」と呼ばれるようになった。

## ペニカナメチ 紅要鷲

春先に葉が紅葉し、冬に緑色となる一風変わったバラ目バラ科カナメチ属の常緑広葉木小高木です。春～初夏、泡を吹いたように白い小さな五弁花を枝先に多数つけて散房状花序を形成します。レッド・ロビンとも呼ばれています。



## クロマツ 黒松

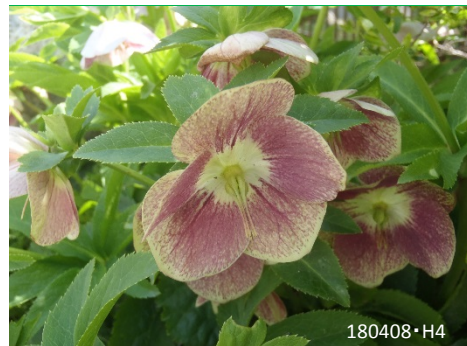
アカマツと比較して黒っぽい樹皮をしており、名前はこれによる。針葉もアカマツより硬く、枝振りも太いことから、別名「雄松(オマツ)」とも呼ばれる。一方、アカマツは「雌松(メマツ)」と呼ばれる。

## シバザクラ 芝桜

北米西部原産の毎年咲く多年草です。茎は立ち上がらずに横に這うように広がって4～5月に花を咲かせます。環境が良ければ一株で径50cmほどに広がり、満開時の地表を埋め尽くさんばかりの花は見応えがあります。花は色は白、ピンク、藤色などがある。

## クリスマスローズ 「オリエンタリス」

毎年花を咲かせる多年草です。「クリスマスローズ」の名前は本来ヘレボラス属の中でも「ニゲル」という一つの種につけられた名前ですが、日本ではヘレボラス属全体を指すのが一般的です。





# ↓アジュール舞子の草花

# 4月

## オステオスペルマム

おもに南アフリカに分布するキク科の草花。以前はディモルフォセカと混同されて売られていましたが、多年草で花茎に葉がつくなどの違いがあります。強い日差しを好み、乾燥に強いという性質は共通しています。花は日差しに反応して開き、日陰や雨の日は蕾のままになります



## ノースポール

北アフリカ原産、1970年前後に日本へ入ってきた草花。草丈は20cm～30cm。葉はやや細長くギザギザと切れ込みます。主な開花期は春～初夏で径3～4cmの白い花を咲かせます。中心の目の部分が黄色で、ノジギクやマーガレットに似た花姿です。



## フュシラズ

冬知らず(キンセンカ)

キンセンカの耐寒性の高いもの品種が「冬知らず」という名前で流通しています。少々霜に当たっても、雪をかぶっても、花を咲かせます。



## ユリオプスデージー

南アフリカ原産の常緑低木です。小さいうちは草花のような姿ですが、年を経ると茎は太くなって表面がごつごつした樹木らしい姿になります。葉は羽状に深く切れ込んで表面に柔らかい毛が密生し、灰白色に見えます。冬～春の花の少ない時期に一重の黄色い花を咲かせます。



## マーガレット

3-7月に花をつける。

白色の一重咲きが普通であるが、黄色やピンクのもの、八重咲き、丁字咲きのものもある。本来は宿根草であるが、日本では温暖地でないと越冬できない。



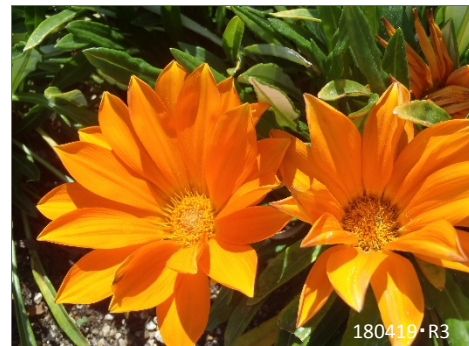
## ガザニア

主な開花期は初夏-秋で長く伸ばした花茎の先端に1輪の花をさかせます。色は黄色、ピンク、オレンジ、赤、白などがあり、蛇の目模様や2色咲き(バイカラー)、ストライプなど非常にカラフルです。花は晴れた日中に開き、日の射さない曇りや雨、夜間は閉じます。



## キンギョソウ

キンギョソウは地中海沿岸(南ヨーロッパ・北アフリカ)に分布する植物です。花茎をまっすぐ上に向かって伸ばし、穂状にたくさんの花を咲かせます。花の姿がひれを広げて泳いでいる金魚に見立ててキンギョソウの名前があります。





## ナノハナ 菜の花

菜の花(なのはな)は、アブラナまたはセイヨウアブラナの別名のほか、アブラナ科アブラナ属の花を指す。菜とは食用の意味であり、菜の花とは食用の花の意味である。春、一面に広がる菜の花畑は壮観で、代表的な春の風物詩でもある。



ハナナ(花菜、菜花)



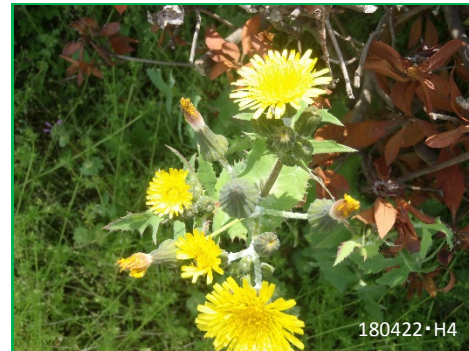
## ナガミヒナゲシ 長実雛芥子

ケシ科ケシ属の一年草。  
紅色、もしくは肉色と評される  
オレンジ色の花を付ける。  
花弁は基本的に4枚。  
開花時期は4-5月。



## ノゲシ 野芥子

ノゲシは世界至る所に帰化している植物であり、原産地はヨーロッパであると考えられている。荒地や空き地などに生育している。秋に芽生え、春から夏にかけて茎をもたげて花を付ける。種子の綿毛は絹状の毛であり細い。



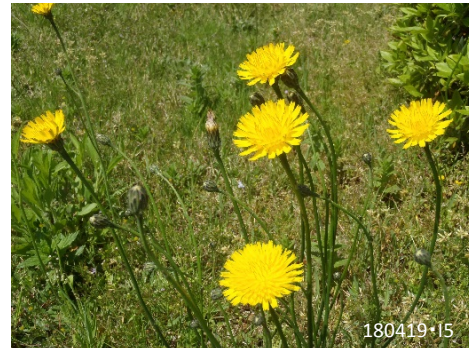
## セイヨウタンポポ 西洋蒲公英

キク科タンポポ属の多年草。  
ヨーロッパ原産の帰化植物。  
**環境省指定要注意外来生物。**  
日本の在来種とは外側の総苞の反る点が異なる。



## ブタナ 豚菜 (タンポポモドキ)

キク科エゾコウゾリナ属の多年草  
ヨーロッパ原産で、  
日本では外来種(帰化植物)  
して各地に分布



## プリムラ・ジュリアン

サクラソウ科サクラソウ属の園芸植物。冬から春の花が少ない時期に、赤、白、ピンク、紫、黄色などのポップな色彩の花を咲かせる草花です。



## ノボロギク

ヨーロッパ原産の1年草。明治始めに帰化し、畑などの他、道路のほりや植栽枠の中などに普通に生育している。葉はつやがあって柔らかく、シュンギクに似た形である。花は真冬にも咲き、一年中見られるが、冬から春にかけて咲いているのがよくめだつ。





# ↓アジュール舞子の草花

# 4月



180414・C6

## カタバミ 片喰

カタバミ科カタバミ属の多年草。  
地下に球根を持ち、さらにその下に大根の様な根を下ろす。  
繁殖が早く、しかも根が深いので駆除に困る雑草である。  
アカカタバミ、ウスアカカタバミ、オッタチカタバミ等がある。

## オオジシバリ大地縛り

日本全土のやや湿り気のある道ばたや水田などにごくふつうに見られる。葉はへら状楕円形で、ときに下部が羽状に切れ込むこともある。花茎は高さ約20cmになり、直径2.5~3cmの黄色の頭花を2~3個つける。

## オニタビラコ

鬼田平子

日本全国のみならず、世界に広く分布している。茎の上部を枝分かかれさせて、それぞれに散房花序(柄のある花がたくさんつき、下部の花ほど柄が長いので花序の上部がほぼ平らになる)をつける。花は花径6~8ミリくらいの小さな黄色い頭花である。



180419・H5



180422・K5



180414・J5

## オッタチカタバミ



180422・O6

## コメツブツメクサ 米粒詰草

マメ科シャジクソウ属の一年草。  
道端や河原などに生える雑草。  
和名は、シロツメクサに似ているが全体に小さいことに由来する。

## コマツヨイグサ 小待宵草

アカバナ科マツヨイグサ属の越年草または多年草。  
砂地などに生える  
環境省指定要注意外来生物。

## ムラサキカタバミ



180419・J5



180419・K5



180419・M4

## ムラサキカタバミ



180419・J5



180419・G5

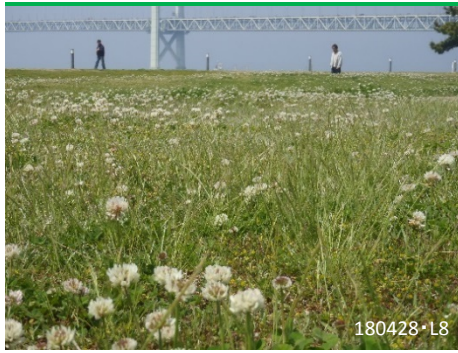


# ↓アジュール舞子の草花

# 4月

## クスダマツメクサ 薬玉詰草

マメ科シャジクソウ属の一年草。  
空き地や道ばたなどに  
生える雑草。  
和名は、花序が薬玉  
のように見えることから。



## スズメノエンドウ

ソラマメ属のつる性の越年草。和名は、カラスノエンドウ(ヤハズエンドウ)より小型であることから「スズメ」を当てた。



## アメリカフウロ

北アメリカ原産の帰化植物。戦後、牧草などに種子が混ざっていて、持ち込まれたものという。路傍や荒地、畑などに生育する。秋に芽生えて春から夏まで、に小さな花を咲かせる。花弁は長さ5mmほどで、淡紅色からほとんど白色までの変異があるが、淡紅色のものが多い。



## カスマグサ

カラスノエンドウに似て、カラスより小さいというので、スズメノエンドウと名付けられています。さらに、この2種の間のような野草があります。カラスノエンドウとスズメノエンドウの間、つまり、カラスの「カ」とスズメの「ス」の間(この漢字は「マ」とも読みます)で、カスマグサなのです。

## シロツメクサ 白詰草 (クローバー)

マメ科シャジクソウ属の多年草。  
別名、クローバー。  
原産地はヨーロッパ。  
花期は春から秋。

## カラスノエンドウ

空き地・畑・道端など、どこにでも生えているマメ科の野草。先端の柔らかな若芽と花の部分を摘んで生のまま天ぷらにするとマメ科特有の風味がして美味しい。サヤエンドウを小振りにしたような若鞠は天ぷらにすると結構イケル。





# ↓アジュール舞子の草花

# 4月

## マツバウンラン

### 松葉海蘭

アメリカ原産。茎は細く、基部で分岐して高さ50cmほどになり、基部から走出枝を伸ばして分株をつくる。葉は線形で、初めはロゼット状に重なるが、後には互生する。直径1cmほどの紫色の仮面状花を穂状につける。花期春～夏。



180408・H5

## ミチバナナデシコ

### 道端撫子

(旧称)イヌコモチナデシコ  
ヨーロッパ原産の帰化植物。茎は下部で分岐し、高さ30cmほどになる。茎は無毛型と有毛型がある。茎の頂に球状の花序をつけ、直径1cmほどの淡紅色の5弁花を苞片の間から出す。



180408・F5



180419・K5

## シロバナマンテマ

ナデシコ科マンテマ属の多年草。ヨーロッパ原産の帰化植物で春、路傍や荒地で小さな薄桃/白花を咲かせる。



180414・H5

## ホトケノザ 仏の座

葉のつき方が「仏の蓮座」に似ていることからこの名がついた。春の七草のホトケノザはキク科のコオニタビラコのことでは異なる。幼苗期にはオオイヌノフグリに似ているが、ホトケノザの方が細長く伸び、やや赤みを帯びていることが多い。



180422・B6

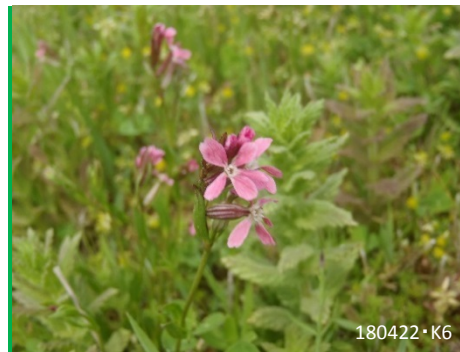
## ツタバウンラン

### 蔦葉海蘭

ヨーロッパ原産であるが、北海道から本州に帰化している。ほふく性で開花期は初夏から夏。花は唇形で、薄い青紫色をしており距がある。道端などにも見られる。



180408・H4



180422・K6

## ヒメオドリコソウ

ヨーロッパが原産のシソ科の二年草です。畑や道端などに生え、高さは10～25cmほどです。葉は心形で対生し、網目状の葉脈が目立ちます。上部の葉は赤紫色を帯びています。3月から6月ごろ、小さなピンク色の唇形花を咲かせます。



180419・L6

## ヘラオオバコ 篋大葉子

オオバコ科オオバコ属の多年草。ヨーロッパ原産の帰化植物でヨーロッパではハーブとして食用や薬用に利用。  
**環境省指定要注意外来生物**



# ↓アジュール舞子の草花

# 4月



180414・K5



180408・F5

## ミチタネツケバナ

アブラナ科タネツケバナ属の越年草または一年草。ヨーロッパ原産の帰化植物。空地や道端などに生える雑草。タネツケバナよりもやや乾燥した場所に生えていることが和名の由来。在来種のタネツケバナは水田など湿気が多い場所を好んで生えます。



180422・K5

## ハコベ属

単にハコベというときは、ハコベ属の1種である春の七草のコハコベのことを指す場合が多い。茎のつけ根に花径4~6ミリの小さな白い五弁花をつける。細い花びらが10枚あるように見えるが、これは5枚の花びらがそれぞれ2つに深く裂けているためである。



180408・H4

## キュウリグサ

3~5月に咲くムラサキ科の花。野原や道端に生息する越年草。花径2~3ミリくらいの淡い青紫色をした小さな五弁花を上向きにつける。花の中心は黄色くなっている。和名は、葉をもむとキュウリのようなにおいがすることに由来する。



コハコベ

180408・R3

## スズメノヤリ

### 雀の槍

イグサ科の草地などによく見かける小型の多年草。花穂の様子を大名行列の毛槍(けやり)にたとえたものであるというのが通説です。「スズメ」は小さいことを表す場合によく名付けられます。



180414・P3

## ナズナ 薺

別名 ペンペン草 三味線草  
アブラナ科ナズナ属の越年草。田畑や荒地、道端など至るところに生える。ムギ栽培の伝来と共に日本に渡来した史前帰化植物と考えられている。春の七草の一つで、若苗を食用にする。かつては冬季の貴重な野菜であった。



180408・H5

## オランダミミナグサ

ナデシコ科ミミナグサ属の植物。小柄な一年草の雑草である。ヨーロッパ原産で、外来種として世界中に分布している。日本在来のミミナグサよりも花柄が短いため、花が集まったように見える。全草が柔らかい毛に覆われている。



180422・G5

## イタドリ

タデ科の多年生植物。別名は、スカンポ、イタンポ、ドンガイ、スッポン、ゴンパチ、エツタン。雌雄異株で、雄花はおしべが花弁の間から飛び出すように長く発達しており、雌花はめしべよりも花弁の方が大きい。夏には、白か赤みを帯びた小さな花を多数着けた花序を出す。



# ↓アジュール舞子の草花

# 4月



## ツルニチニチソウ 蔓日々草

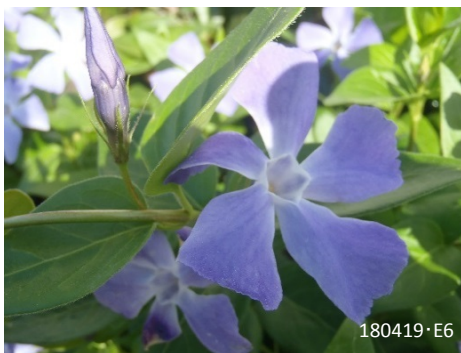
南ヨーロッパから北アフリカにかけて分布するつる性の亜低木です。常緑性でつるは地面を這うように伸びるので、グラウンドカバーに利用されます。

## ヒナギキョウ 雛桔梗

キキョウ科ヒナギキョウ属の多年草。日当たりの良い原野に生育する。高さ20~40cmになり、7月から9月に小型ではあるが長い柄の先にキキョウにそっくりの花を付ける。

## スイバ

春の終わり頃になると、田の畦につんつんと赤い花序を立てる多年草。スキャンポという名でよばれている。同じタデ科のイタドリもスキャンポと呼ばれるので注意が必要。よく似たギシギシとは、ギシギシは花序が緑色でのちに茶色に変わるが、スイバは赤味を帯びている。ギシギシは雌雄同種だが、スイバは雌雄異株。



180419・E6

180422・G5



## ヒナキキョウソウ 雛桔梗草

キキョウ科キキョウソウ属の一年草。北アメリカ原産で日当たりの良い草地や荒地など何所にも生える。茎の最上部に淡青紫色の花を1つ咲かせる。葉腋から出る下部の花はすべて閉鎖花

## ユウゲショウ 夕化粧

アカバナ科マツヨイグサ属の多年草。和名の由来は、午後遅くに開花して艶っぽい花色を持つことからとされる。帰化植物として温暖な地域に広く分布。

## ニワゼキショウ 庭石菖

アヤメ科ニワゼキショウ属の一年草。直径5から6mm程度の小さな花。花弁は6枚に分かれる。花色は白のものと赤紫があり、中央部はどちらも黄色である。花は、受精すると、一日でしぼんでしまう。



180422・K5



180422・S5



180422・F6

## シラー・ペルビアナ

原産地は地中海沿岸の南ヨーロッパ、北アフリカなど。草丈20-40cmほど。5-6月ごろ、花茎の先に径2cmぐらいの星型の小花を数十個傘状につける。花色は濃い紫が多いが、白色のものもある。和名はオオツルボ(大蔓穂)とも呼ばれています。



# ↓アジュール舞子の草花

# 4月



180428・F6

## コウボウムギ弘法麦

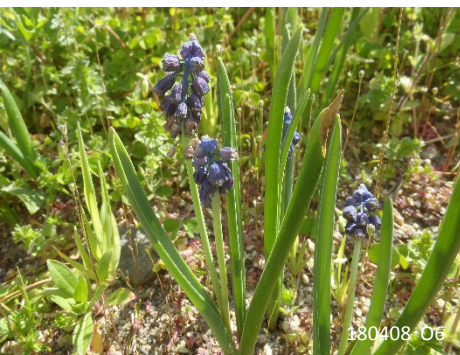
海浜に生育する多年生の草本。東アジアの海岸に広く分布し、砂丘上にやや疎な群生を作る。古い葉鞘の繊維が地下に残り筆のような形になり、実際に筆として使われたこともあると言われ、別名のフデクサ(筆草)はこれにちなんでいる。



180422・N8

## ムスカリ

草丈15cmくらいで葡萄のような花を咲ます。とても耐寒性の強い花で、こぼれ種や自然分株で増え、毎年自然に花が咲きます。小さな花ながら、花壇に群生させたムスカリが一斉に咲きそろった光景は見事です。



180408・O6



180419・R3



180422・N8

雄株 茶色の穂を付けます  
(雌穂は緑色の穂を付けます)



180419・R3



180422・N8

## ナルトサワギク

東アフリカ原産の多年草。高さ20~50cm。繁殖力が強く通年開花。花の直径は1円玉ぐらいで、花弁にはギザギザがない。1976年に徳島県鳴門市瀬戸町で見つかり、外来生物法で**特定外来生物**に指定された。



抜取・駆除しました

180422・R3



180419・R3

## コウボウシバ弘法芝

東アジアからオーストラリアに広く分布し、海岸の砂地に普通な多年草。太い地下茎を伸ばし、丈の低い茎と革質の葉を出す。花期は本格的に暑くなる前の春から初夏。茎頂に雄小穂、葉腋に雌小穂を数個付け、小穂は夏に茶褐色に熟する。

